

いずみさの昔と今 第247回

「まくらに込めた願い

、日根神社『まくら祭り』」

泉佐野市日根野にある日根神社の「まくら祭り」は、「まくら」が活躍する全国でも他に類を見ない珍しい祭りです。祭りは毎年5月4日・5日の2日間行われ、まくらをとりつけた「幟（のぼり）」（別名まくら幟）を背負い、五社音頭を唄いながら練り歩くところから「まくら祭り」と呼ばれるようになりました。日根野・上之郷・長滝の3つの地区が交代で祭りを担当し、今年の日根野地区の番でした。4日の宵宮では日根神社と担当地区内を巡り、5日の本宮では日根神社と長滝の御旅所（おたびしょ）を半日かけて往復します。幟は1番幟・2番幟・3番幟の3本あり、また、本宮では幟のほかに担ぎ神輿や引き神輿、神楽なども一緒に練り歩くため、豪華な渡御（ときよ）となっています。

なぜ、まくらが主役なのでしょう？そもそも、まくらには眠るときに人の頭を支えるための道具で、時代とともに材質や形状の変化はありますが、古代から使われてきました。単に睡眠のための道具ではなく、まくらを粗末に扱うことは良くないといわれ、北枕で眠ることを忌み嫌うなど、まくらに関する風習は数多く残っています。これらのことから、まくらには私たち生活に深く関わり、さらに死生観へも影響してきた道具であることがわかります。「まくら祭り」は、良縁の願いや子授け、安産の願いを込めてまくらを奉納したことがはじまりといわれています。現在のような形になる以前は幟旗だけで練り歩いていたりと考えられていて、いつから幟にまくらをつけるようになったのか、詳しいことは分かっていません。

5メートルほどの長さの幟には、25個のまくらが取り付けられ、先端からは女の子用の帯が吊るされます。まくらには担当地区の女性によって、兜・鯉のぼりの絵柄や花の模様、キャラクターの絵柄、野球球団のマークなどがあしらわれていました。今年の本宮では男たちの勇ましい五社音頭とともに華やかな幟が高高く掲げられ、よく晴れた新緑の空を彩っていました。このように、「まくら祭り」は優美さと力強さを兼ね備えており、祭りの参加者のみならず見る人をも惹きつける力があります。人々がまくらに願いを込めることは今も昔も変わらないものであり、これからも祭りを通じて未来へと受け継がれていくことでしょう。



のように、「まくら祭り」は優美さと力強さを兼ね備えており、祭りの参加者のみならず見る人をも惹きつける力があります。人々がまくらに願いを込めることは今も昔も変わらないものであり、これからも祭りを通じて未来へと受け継がれていくことでしょう。

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、祝日（祝日が月曜日の場合はその翌日、日曜日の場合はその翌々日）
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料 無料

内 容	件数
情報料の不当請求など	173
インターネット通信	35
新聞・書籍など	32
商品一般	31
借金など融資	29
携帯電話など	28
レンタル・リース	26
健康食品	20
工事・リフォーム	14
預貯金・証券等	9

■センター利用者数
相談、見学、講座受講など：2,303人
相談件数：833件（苦情720件、問い合わせ113件）

消費生活センターだより

見守りリー→

相談受付
午前9時～
午後4時30分

相談はお早めにセンターへ!!

南海線「泉佐野」駅前
☎469-2240

平成27年度 消費生活相談状況

や架空請求が多くありました。支払いはコンビニでプリペイド型電子マネーを購入させるなど手口も巧妙化しています。携帯電話で見知らぬ着信履歴にかけ直すと音声ガイダンスで誘導されて、利用した覚えのない情報料を請求されたという事例も多く発生しています。心当たりのないメールや電話は十分注意してください。

インターネットでダイエット用サプリメントの格安お試しコースが、継続の定期コースだったという相談が若い女性に目立ちます。お得な所だけを見るのではなく、広告の表示をよく確認してください。

また、解約の電話をしても繋がらないという苦情も多くあります。電話勧誘販売では、電話で「料金が安くなる」と勧められ、遠隔操作でプロバイダーの変更をしたが安くならなかったという事例が多くあります。業者が解約に応じても違約金を請求されたケースもあります。

訪問販売では、新聞購読の長期契約による解約トラブルが多く、景品につられて安易に契約しないようにしてください。

販売購入形態	件数
通信販売	254
店舗購入	192
訪問販売	77
電話勧誘販売	49
マルチ商法	10
訪問購入	5
その他無店舗販売	7
不明、無関係	239